

社会保障制度の中でも特に所得保障制度について研究しています。貧困を防ぐために、年金制度を始め、生活保護制度、失業給付などがどのように機能すべきか、データを基に実証研究を行っています。最近では、ベーシック・インカムについても関心があります。

1. 専門演習の目標

本専門演習では、第一に、社会保障制度の諸機能をできるだけ多角的に把握することを目指します。第二に、社会保障制度において現在生じている諸問題とその解決策について考察します。

2. 専門演習で扱う課題と内容

専門演習では最初に以下の課題に取り組みます。その後、各自の興味関心に応じて取り上げるテーマを決め、それについて上記の目標を達成するように考察を深めます。

1. 社会保障制度の分析方法、2. 公的年金－世代間の負担格差は許されるか、3. 第三号被保険者制度は是か非か、4. 基礎年金財源－税か保険か

3. 授業の進め方・内容

3回生の前期では、社会保障制度改革を巡って、賛成派と反対派に分かれてグループ単位でディスカッションをします。後期では、研究テーマが近い者でグループをつくり、それを単位として研究発表を行います。4回生の前期では、卒業論文の書き方について学習し、その内容を決め、個人単位で研究発表を行って論文の中心部分を作成します。後期では、卒業論文の内容を深めるために個人単位での研究発表を前期に引き続いて行うとともに、論文を完成させます。

4. 必要とする知識

社会保障制度に関する知識、統計分析に関する知識があればなお良いでしょう。

5. 関連する分野・科目・知識

政治学や経済学関係科目、および、社会調査関係科目。

6. テキスト・参考書・機材（受講生が標準的に持つもの）

演習で必要に応じて指示します。

7. 独自に付加する選考方法

特にありません。

8. 受講生に望むこと

現在の社会保障制度のあり方に疑問を感じ、それを改革したいという熱い想いをもち、それをクールに分析したい人を歓迎します。